

☆帝国主義国、植民地従属国、「労働者国家」の階級闘争を世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！ 共産主義者同盟（統一委員会）

戦旗

発行所 戦旗社
編集発行人 鹿島 昂
東京都足立区綾瀬7-2-11
電話03 (6876) 6136
郵便番号 00180-4-176133
http://www.bund21.org
今号6頁 200円
年間購読料(送料共)
開封6,300円 密封7,000円

3面：反戦闘争・反基地闘争を闘い抜き石破政権の戦争体制づくり阻止！
4面：朝鮮—アジア人民と連帯し侵略反革命戦争と排外主義粉砕アジア・インター建設へ向かう(下—)
6面：改憲教育基本法の実働化弾劾！闘う教職員と連帯し改憲阻止を闘おう



尹錫悦即刻逮捕緊急行動集会 (1月6日 出所：民主労総機関紙『労働と世界』)

石破訪米—日米首脳会談反対 トランプ大反動を粉砕しよう 戒厳粉砕した韓国国民衆とともに闘おう

韓国内乱

韓国情勢は、大統領尹錫悦(ユン・ソギョル)による非常戒厳の宣布とそれに基

づく韓国軍全軍およびソウル警察庁をはじめとする国家暴力装置の全面発動とい

う反革命内乱が、高位公職者犯罪捜査と警察が構成する合同捜査本部と、大統領の身辺を警護する警護処という二つの国家機関が武装して対峙する内戦的段階へ転化した。だが、大部分の警護処職員が任務を拒否する

ず、合同捜査本部による内乱罪容疑者・尹錫悦の逮捕(一月一日)と勾留(同日九日)により一旦収束した。国防大臣と国軍及び警察の指導部のほとんども逮捕・起訴されて裁判が開かれて

いる(ただし、内乱への関与が疑われている国家情報院と検察からは逮捕者が皆無)。また、国会での弾劾決議を根拠に憲法裁判所が開始した大統領の罷免の可否をめぐる審議は尹錫悦欠席のまま粛々と進んでおり、大統領代理人(弁護団)の極右の論理の破綻が連日報道されている。

今後の見通しだが、内乱罪については一月十八日段階で合同捜査本部が尹錫悦の勾留状を請求し、翌日裁判所が発付した。検察が最長二〇日間補完捜査して、起訴し、遅くとも二月初旬に裁判が始まる。他方、憲法裁判所の判決は、早ければ二月末、遅くとも三月中旬に下される見通しだ。罷免が決定すれば大統領選挙が行われ、現時点での世論調査によれば支持率が群を抜いている第一野党代表の李在明(イ・ジェミン)が当選する確率が高い。そうならば、尹錫悦とその連れ合いの金建希(キム・ゴンヒ)および周辺の数多くの権力犯罪については一月十八日段階で韓国を西の植民地にしようとする野党が中国と朝鮮民主主義人民共和国の手先即ち反国家勢力となつて内乱を断じてない、国会の機能を止めるつもりなど一つもなかった。

しかし、非常戒厳の宣布に基づいて指名された戒厳司令官が発表した「戒厳司令部署令(第一号)」第一項は「国会と地方議会、政党の活動と政治的結社、集会、デモなど、一切の政治活動を禁ずる」としている。朴正熙(パク・チョンヒ)の維新クーデター(一九七二年)、今回の内乱の手段である全斗煥(チョン・ドファン)の「12・12クーデター」になつた国会と地方議会、政党の活動の禁止が明示されたのだ。また、第四項では「社会の混乱を助長するスライキ、怠業、集会行為を禁ずる」として労働運動を禁止し、戒厳司令官、国軍情報司令官を加えた国軍の中軸、さらには警察庁とソウル警察庁(日本の警視庁に相当)と連携して緻密に練られて実行された。憲法裁判所への答弁書などに示されている尹錫悦政権の論理はこうだ。昨年四月の総選挙は不正選挙で無効だ、半数を占めた野党が中国と朝鮮民主主義人民共和国の手先即ち反国家勢力となつて内乱を断じてない、国会の機能を止めるつもりなど一つもなかった。

ユン・ソギョルの「ソツタル」二日

「ユン・ソギョル」あり、または、社会秩序が極度に攪乱して、行政および司法の機能の遂行が著しく困難な場合に、軍事的に非常戒厳を宣布し、午後一時に施行した。戒厳法第二條第二項はその条件を次のように規定する。「非常戒厳は、大統領が戦時・事変またはこれに準ずる国家非常事態の時に敵と交戦状態に

あり、または、社会秩序が極度に攪乱して、行政および司法の機能の遂行が著しく困難な場合に、軍事的に非常戒厳を宣布し、午後一時に施行した。戒厳法第二條第二項はその条件を次のように規定する。「非常戒厳は、大統領が戦時・事変またはこれに準ずる国家非常事態の時に敵と交戦状態に

あり、または、社会秩序が極度に攪乱して、行政および司法の機能の遂行が著しく困難な場合に、軍事的に非常戒厳を宣布し、午後一時に施行した。戒厳法第二條第二項はその条件を次のように規定する。「非常戒厳は、大統領が戦時・事変またはこれに準ずる国家非常事態の時に敵と交戦状態に

三里塚 1・12 反対同盟、新年デモ・団結旗開き 南台の畑から空港会社弾劾するデモ 旗開きで農地守り抜く決意固める

新年デモ

一月二日、三里塚芝山連合空港反対同盟が、二〇二五年年頭の闘いとして、新年デモと団結旗開きを開催した。

団結旗開き

午前一〇時に東峰神社に集まった。反対同盟が神社の鳥居に新しいしめ縄を取り付けた。秋原富夫さんが、東峰神社の歴史の由来、空港を阻むように存在していることや、東峰地区住民の営農と生活の意義を説明した。

デモ終了後、芝山町福祉センター「やすらぎの里」に移動し、団結旗開きが開催された。



南台の農地を出発し成田空港に肉薄。抗議の声を叩きつけた (1月12日)



団結旗開きで農地を守り抜く決意を打ち固めた (1月12日 芝山町)

南台の市東さんの畑に再結集し、太郎良さんが新年デモを説明。参加者全員でシニプレヒコールをあげ、

司会の木内敦子さんのあいさつに続き、主催者あいさつに伊藤信晴さんが立った。伊藤さんは、「市東さんの農地決戦が具体的に近づいている。」「全力で反戦闘争を爆発させて、三里塚を闘おう」と呼びかけた。

次に、秋原富夫さんが「闘争宣言2025」(別掲)を読み上げ、参加者全員の拍手を確認した。

つづいて、市東孝雄さんが、「今日ここに集まれた皆さんと共に力を合わせることで、農地が守られている。耕作権裁判の判決が間近ですが、闘いはこれからです。まだまだ闘いは続きます。私の気があるうちには闘い続けます。今年も楽しく闘っていきましょう」と力強い決意を明らかにし、乾杯の音頭をとった。

新年を迎え、新たな闘いの決意を確認する杯を交わしながら、動労千葉、関西実行委員会、関西生コン、反対同盟顧問弁護団の連帯あい

三画へつづく

一面から

滅する...これが元検事総長尹錫悦の計画だった。けれど、尹錫悦の「ソト映画『ソウルの春』を撮ると対峙しながら数日間主導した。抗議集会会場ではKポップスターを応援する色とりどりの「応援棒」(ペンライト)が揺れ、Kポップと民衆歌謡がともに歌われ、若い人々は、大統領と与党と極右への怒りを燃やして起ち上がり、その中で、親・祖父世代の民主化運動の意味と歴史を認識し噛み締めた。

尹錫悦の反革命内乱を韓国民衆が打ち破っている最中に、米帝・トランプ政権、日帝・石破政権は、日米韓の軍事同盟化に向けて、軍備強化・戦争準備を推し進めている。

今こそ、韓国民衆に連帯し、帝国主義の侵略反革命戦争を阻止すべく闘おう。

「資料」 アジア共同行動(AWC) 日本連絡会議の声明

石破政権の尹錫悦大統領擁護を許さず、尹錫悦政権打倒闘争を闘う韓国労働者民衆と連帯しよう!

アジア共同行動(AWC) 会で解除決議が上がったことも開始します。

日本連絡会議は、昨年一二とで失敗に終わりました。月二〇日、韓国大統領尹錫悦の非常戒厳を阻止した否決されましたが、今回の旬、ペルーで日韓首脳会談をもち、「最近の北朝鮮(マ)の動きも含めた厳しい海洋投資をめぐって日本政界を非難するなど、その影響の拡大が「改善基調」に口にして朝鮮半島へ上陸することをさえ目論んでいま、日米韓の軍事的同盟化を断つべきです。

「尹錫悦大統領が野党、自衛隊の朝鮮半島への派兵をおこなうな!」と規定する背景には国家保安法が存在があります。この保安法を撤廃するために国際世論を高める努力をせよ!

二〇二四年二月二〇日 アジア共同行動(AWC) 日本連絡会議

減する...これが元検事総長尹錫悦の計画だった。クーデターを描いた大ヒット映画『ソウルの春』を撮ると対峙しながら数日間主導した。抗議集会会場ではKポップスターを応援する色とりどりの「応援棒」(ペンライト)が揺れ、Kポップと民衆歌謡がともに歌われ、若い人々は、大統領と与党と極右への怒りを燃やして起ち上がり、その中で、親・祖父世代の民主化運動の意味と歴史を認識し噛み締めた。

尹錫悦の反革命内乱を韓国民衆が打ち破っている最中に、米帝・トランプ政権、日帝・石破政権は、日米韓の軍事同盟化に向けて、軍備強化・戦争準備を推し進めている。

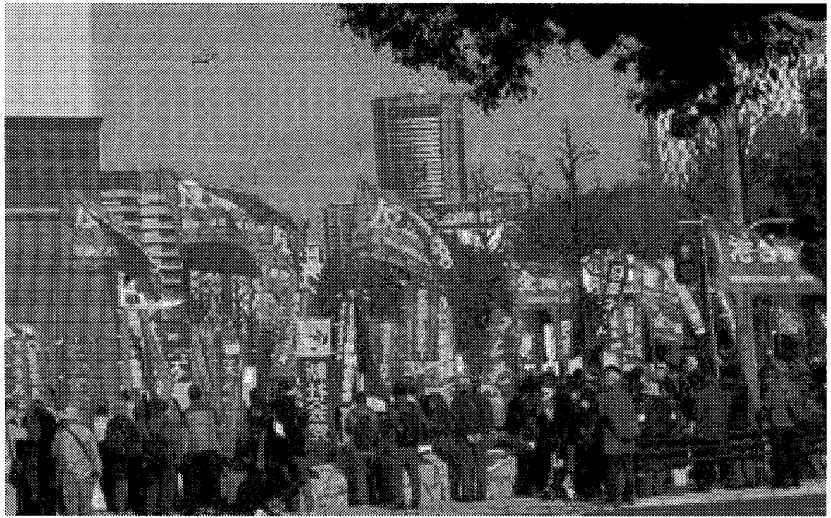
今こそ、韓国民衆に連帯し、帝国主義の侵略反革命戦争を阻止すべく闘おう。

二〇二五年、反戦闘争・反基地闘争を断固闘い抜く



徹夜で尹錫悦の逮捕を要求する人々 (1月6日 大統領官邸近く 出所: 京郷新聞)

1・1 大阪 関西生コン労組弾圧抗議！ 7回目の元旦行動を闘う



大阪府警本部に向かって抗議する参加者 (1月1日)

一月一日、連帯労組関西生コン支部への弾圧に抗議する元旦行動が四五〇名の結集で闘われた。二〇一八年の弾圧以来、恒例となった大阪府警前での行動は今決着に当たって解決金を勝ち取ったことを「恐喝」だとし、前委員長、現委員長にそれぞれ懲役一〇年という許しがたい求刑を行っている。そもそも脅した事実もなく、「犯罪」とされるような行為は長い裁判の中でも何一つ出ていない。「強い労働組合には憲法二八条を適用すべきでない」という無茶苦茶な理屈で、当たり前の労働組合活動をむりやり「犯罪」にでっち上げた労働運動弾圧であり、冤罪事件だ。

行動を呼びかけた反弾圧大阪実行委、連帯労組、京滋、兵庫、東海など各地の反弾圧実行委、行動に駆けつけた議員たち、反原発運動からも、検察のでっち上げによる労働運動弾圧への抗議の声が次々と上がった。参加者全員で、完全無罪を勝ち取るだけでなく、労働運動の反転攻勢を作り出そう！との決意が共有された。

二面から

戦・反基地、国際連帯を掲げ、三里塚闘争勝利、日帝ー石破政権打倒闘争を推進し潤追求でしかなく、三里塚をはじめ、空港周辺住民にとっては、営業・生活を破壊していくものであると徹底批判した。さらに、世界情勢が、分断と対立を極め、戦争が続いているなかで、反

戦・反基地、国際連帯を掲げ、三里塚闘争勝利、日帝ー石破政権打倒闘争を推進し潤追求でしかなく、三里塚をはじめ、空港周辺住民にとっては、営業・生活を破壊していくものであると徹底批判した。さらに、世界情勢が、分断と対立を極め、戦争が続いているなかで、反

年の天神峰決戦を闘い抜いたの団結旗開きは成功だと「思います」と力強く表明した。その上で「3・30天神峰日旗開きの皆さんの発言を聞いて、反対同盟が背中を押されていると感じました。千葉地裁に大結集しよう」と行動提起を行い、参加者全員が拍手で応えた。

最後に、団結カンパロー

闘争宣言2025

二〇二五年、ウクライナ韓国・ユン大統領の戒厳令戦争が三年、パレスチナ人発動、米中対立の激化など民虐殺も終わりが見えない世界情勢が激動する中、少中、アメリカ第二次トランプ政権発足によって世界は混乱と衝突が激化し、世界戦争の危機が深まっています。シリア・アサド政権の崩壊、ドイツ連立政権崩壊、

ち向かう世界の人民と共に闘う。五九年目の三里塚闘争は、戦争のための空港機を強化し、成田軍事専ら立ち向かい、成田軍事空港粉砕へ闘わなければならぬ。

二三年二月の天神峰農地を包囲し、必ず勝利判決を勝ち取り、南台農地を守り抜こう。仮執行など不当な判決が出た場合は、ただちに力阻止態勢に決起しよう！

成田空港会社は「新しい。夜間飛行差し止め訴訟」

安全保障支援(OA)の

反戦闘争・反基地闘争を闘い抜き 石破政権の戦争体制づくり阻止！

少数与党となった石破政権の下でも、戦争体制づくりは強力におし進められている。これと対決し、石破政権の打倒に向けた闘いをおし進めよう。

八兆円を超える 大軍拡予算

昨年末の一二月二七日に閣議決定された二〇二五年防衛関係予算案には実に八兆七〇〇五億円となり、一一年連続で過去最大を更新した。昨年度の当初予算

と比べて約七五〇〇億円、9.4%の増加だ。約五兆四〇〇〇億円であった二〇二二年(二月)の下で軍事費は増大し続けている。今年度予算案においては、敵の射程圏外からの攻撃を可能とする「スタンダード・オフ防衛能力」の強化のためにあわせて九三九〇億円が計上された。三菱重

工製の12式地对艦誘導弾の長距離化と改良および量産体制の確立、極超音速誘導弾の製造態勢の拡充、JSMやJASSMなど戦闘機に搭載するミサイルの取得のために巨額の税金が投下され、地上配備型の12式地对艦誘導弾能力向上型について今年度後半にその実際の配備が狙われている。また、「衛星コンステレーション」の構築費用として二

尾のために複数の人工衛星を連携させて情報を収集するシステムであり、実際の長距離ミサイル発射のために不可欠なものだ。

また、長距離ミサイルの取得・配備と一体となった弾薬庫の建設については、全国で新たに二棟の新設が打ち出され、関連費用として三三六億円が盛り込まれた。安保三文書では「継戦能力の強化」として、二〇三二年ごろまでに全国で約一三〇棟の弾薬庫の増設を計画しており、今回の防衛予算案によって計五七棟の増設が具体的に打ち出されたことになる。そのなかでは、京都府北部の海自舞鶴基地で新たに三棟の増設(計六棟)、京都府南部の陸自祝園分屯地で新たに六棟の増設(計一四棟)が打ち出されるなど、既存の増設計画の拡充も狙われている。この

戦争体制づくりの対決を

一月二四日に始まった第二七回通常国会では、当面はこの大軍拡予算を含む政府予算案が焦点となる。社会保険や教育をはじめ労働者人民の生活に直結する予算を圧迫しながら戦争体制づくりをまい進する石破政権の打倒に向けた闘いをおし進めていかなければならぬ。

石破政権は「能動的サイバー防衛法案」を今通常国会に提出しようとしている。これは「能動的サイバー防衛」を今通常国会に提出しようとしている。これは「能動的サイバー防衛」を今通常国会に提出しようとしている。

今通常国会においては、自衛隊のフィリピン駐留と米比合同軍事演習への正式参加に関する「日比円滑化協定」(昨年七月調印)の国会での批准など、自衛隊の海外派兵体制の強化、アジア太平洋地域における二国間・多国間の安保協力体制の強化もおし進められている。

一月一日、石破はマレーシアのクアラルンプールでアンワル首相と首脳会談を行い、二国間の海上訓練など安保協力の強化を確認した。それに続いて二日にはインドネシアのプラボウオ大統領と首脳会談を行い、日本からインドネシアへの高速警備艇の供与や年内の2+2(外務・防衛大臣会合)の開催で合意した。インドネシアへの軍事支援を含め「同志国」の軍隊に防衛装備品を提供する「政府

共産主義者同盟(統一委員会)

綱領・規約集
(2018年改訂版)

結成大会宣言
改訂綱領
戦術・組織テーゼ
規約

2021年3月発行
定価 500円
〒120-0005 足立区綾瀬7-2-11
戦旗社

朝鮮—アジア人民と連帯し

侵略反革命戦争と排外主義粉砕

アジア・インター建設へ向かおう

(下—2)

目次

はじめに

- 1 抑圧民族共産主義者の為すべき国際主義の実践
- 2 朝鮮人民の反帝民族解放闘争に対する日本人共産主義者の無関心・無理解・無視

(1) 朝鮮人民の反帝民族解放闘争(この途中までが(上))

(2) 日本人共産主義者の無関心・無理解・無視

(3) 華青闘争

(4) 華青闘争同盟(この途中までが(中))

(5) アジア・インターナショナルを目指して

(6) 朝鮮人に対する日本人の民族排外主義(この途中までが「下—1」)

(7) 日本の左翼の「脱亜入欧」思想

(8) アジア・インター建設への努力

(9) 血債の思想の再建

(10) 血債の思想の再建

高橋功作

建設的な要素が確かに残されているのは事実で、それは帝国主義世界がそのような状態を強いていたのです。うかつにも、とうとうか、無意識のうちにもそのことが見落としていく。そして、そのようなイメージはなまじ、例えばマルクスの有名なインド論の一節などによって補強・合理化されるので、ますますもつともらうくなる。「排外主義克服のための朝鮮史」、梶村秀樹著作集第一巻四二頁。

日帝が中国侵略一五年戦争に突撃して以降、日本共産党を理論的に支えた講座派が「大東亜共栄圏」論の布石となるような固定観念を補強する役割を果たしてしまっただけでなく、朝鮮の南北分断、中華人民共和国成立、朝鮮戦争勃発、スターリン批判、ハンガリー動乱、キューバ革命、日本での共産主義者同盟など新左翼党派の結成、六〇年安保闘争、ベトナム反戦、七〇年安保闘争……。

第二に、次に、己の主張を補強する目的で行う引用の出所も欧州中心である点だ。マルクス、エンゲルス、レーニン、トロツキー、ルクセンブルク、グラムシなど欧州の革命家と自派の先行世代が引用先のほぼすべて、毛沢東、金日成、ホーチミンの言及は僅少だ。

第三に、一九四五年以前の日本の共産主義運動の歴史、また、植民地支配下の朝鮮人の共産主義運動、四五年以降の朝鮮と日本、四八年以降の南北朝鮮と日本における朝鮮人の共産主義運動の歴史についての総括が、日本人共産主義者においてほとんど歪曲されているか、もしくは無い、という点だ。後者の理由は先述の通り、共産主義者同盟と共産党宣言と一八四八年革命、フランス階級闘争とパ

総出で煽る。また、それに就いて朝鮮学校の無償化からの排除など日朝鮮人の教育をはじめとした生活の権利を蹂躪しつつ、教育とマスコミを通じて民族排外主義を再生産することで日本人をイデオロギー的に支配し、その思考と実践を縛っている。だから日本の労働者階級人民は、この思想的な縛り、そして内面化と、その拠って立つ不当な存立基盤とを捉え返し、天皇制イデオロギー、植民地主義、民族排外主義を、天皇制国家権力、資本主義・帝国主義の体制もろとも打ち倒す実践を貫徹するのだから、それならいいのだ。

とトータルに対決したいと望んだ者がとうしてこんなことになってしまったのか。それは、西歐に基準をおいて、天皇制を支える日本の「封建的」要素、「特殊性」のみを一面的に強調していく方法論自体から発していると思えます。そのことを強調する時、「アジア」という表現がなされた。『インド以下の低賃金』は典型的な近代市民社会、日本はやや遅れており、中国や朝鮮は一段と遅れているという図式にどうしてなっているか。

第一に、国際共産主義運動の歴史に関するわれわれの最大公約的な認識の対象がドイツとロシアに、日本に限られ、それ以外の地域がわすれられている点だ。前史としてのドイツのヘーゲル左派、講壇社会主義に続き、共産主義者同盟と共産党宣言と一八四八年革命、フランス階級闘争とパ

(承前)

「植民地支配者の朝鮮観を認識のレベルで要約すれば、支配の正当化・合理化のために、①朝鮮民族の全てを劣った無価値なものとして扱おう、②日本の優越性を強調すること、③からなる認識体系であった。この姿勢のレベルで、ありようを、取り敢えず前項でみてきた事例から抽出すれば、①ことさらに強調しようという形が広がっている。②高飛車な欺瞞、③優越者としての慈悲、④やま

「しよゆえの恐怖などであったといえよう。これらの姿勢は、戦前においては明らかに在朝日本人社会一般から日本社会一般にまで伝播していた。そして、戦後にたゞ今も続き、日本の資本主義・帝国主義の体制を支える柱になっている。日米欧の帝国主義国家権力が今日、自国の民主主義及び人権の壊滅的状況と、経済的核心である産軍官複合体の利害の発露である侵略反革命戦争および軍事的重圧という血塗られた所業を棚上げし隠蔽したうえで、中国と朝鮮民主主義人民共和国を悪魔化して、その「独裁政治」と「軍事的脅威」を官民

「いわゆる他律性史観」と以上にならざる。天皇制

日本の左翼の「脱亜入欧」思想

帝国主義的・排外主義的イデオロギーに昔も今も組織され、その行動を規定されているのは日本の大衆だけではない。われわれ日本人共産主義者こそそうだったし、いまもそうだ。それと、自覚的かつ実践的闘いが要請される所以だ。歴史的要因には、朝鮮人民への差別と抑圧を正当化する支柱が停滞性史観・他律性史観だ。

「ところで、一九三〇年代以降、特に講座派の講壇マルキストたちが、このような停滞的アジア観に『社会経済史』的基礎づけを与え、理論的に動かしたが、真理のような外見を与えて、後の『大東亜共栄圏』論の布石となるような固定観念を補強する役割を果たしてしまっただけでなく、朝鮮の南北分断、中華人民共和国成立、朝鮮戦争勃発、スターリン批判、ハンガリー動乱、キューバ革命、日本での共産主義者同盟など新左翼党派の結成、六〇年安保闘争、ベトナム反戦、七〇年安保闘争……。

第二に、次に、己の主張を補強する目的で行う引用の出所も欧州中心である点だ。マルクス、エンゲルス、レーニン、トロツキー、ルクセンブルク、グラムシなど欧州の革命家と自派の先行世代が引用先のほぼすべて、毛沢東、金日成、ホーチミンの言及は僅少だ。

アジア・インター建設への努力

明治維新から第二次帝国主義戦争までの日帝の敗北までの間に朝鮮人との連帯を追求した日本人は極少数の個人だけで、政党や労組などによる組織レベルでの取り組みは弱かった。今では民族排外主義と差別排外主義への反対を叫ぶ日本の左翼を含む人民の歴史の出発点がかような有様だった。

「明治の初年などに朝鮮人から友としての評価を得るような日本人はおらず、ずっと後になって、明確に日本国家を批判する視点を持つ極少数者だけが、限定つきにせよかろうじてそうした評価を得ている。即ち、幸徳秋水は生前には朝鮮人の友を持ちえなかったが、死後に申采浩の評価を得た。柳宗悦は三・一直後の

「理解」に基づく「日共スタ批判」や運動・組織に関する対処など、底なし沼に陥る危険がある。」

五面へつづく

「理解」に基づく「日共スタ批判」や運動・組織に関する対処など、底なし沼に陥る危険がある。」

「理解」に基づく「日共スタ批判」や運動・組織に関する対処など、底なし沼に陥る危険がある。」

「理解」に基づく「日共スタ批判」や運動・組織に関する対処など、底なし沼に陥る危険がある。」

五面へつづく

「理解」に基づく「日共スタ批判」や運動・組織に関する対処など、底なし沼に陥る危険がある。」

「理解」に基づく「日共スタ批判」や運動・組織に関する対処など、底なし沼に陥る危険がある。」

「理解」に基づく「日共スタ批判」や運動・組織に関する対処など、底なし沼に陥る危険がある。」

五面へつづく

「理解」に基づく「日共スタ批判」や運動・組織に関する対処など、底なし沼に陥る危険がある。」

「理解」に基づく「日共スタ批判」や運動・組織に関する対処など、底なし沼に陥る危険がある。」

「理解」に基づく「日共スタ批判」や運動・組織に関する対処など、底なし沼に陥る危険がある。」

改悪教育基本法の実働化弾劾！ 闘う教職員と連帯し改憲阻止を闘おう

二〇〇六年に教育基本法が改悪されたから一九九九年が経過した。教育現場では改悪教育基本法の実働化が進行している。教育の基本理念に「愛国心」を挿入した改悪教育基本法は、まさに具体的な教育政策として実体化しているのだ。それはこれまでの教育の在り方まで変えようとする攻撃である。「資質・能力」「観点別評価」という概念を教育現場に導入し、「学習評価」を国家的基準で統一しようとしている。まさに日本の教育制度、学校教育は国家イデオロギーの思想注入機関として完成させられようとしている。

しかしながら、こうした現状においても「子どもを戦場に送るな」というかつての日教組の思想を継承し、反戦・平和教育を模索する教職員がいる。「日の丸・君が代」の強制に反対する教職員や市民・労働者・学生がいる。われわれはこうした闘いを貴く人々と連帯し、国家主義的教育の強制と闘っていかねばならない。

二月九日、都教委包囲ネットワーク主催で「日の丸・君が代」強制に反対する集会を取り組まれる。われわれは、教育の国家支配と戦争・改憲に反対するこの集会を断固支持する。闘う教職員とともに反戦・反改憲の運動を前進させよう。

二〇一八年度 学習指導要領

二〇〇六年の教育基本法改悪を前後して教育の在り方は制度的に変わってきた。もっとも大きな変化は学習指導要領の内容の変容である。二〇一八年度の指導要領に「学習評価」という概念が導入されるようになった。

これまで学習指導要領の中心にあって現場教職員はほとんど無視してきた。現場教職員には教育の中心を司っているのは自分たちだという自負がある。所詮、学習指導要領は官僚的行政文書だという感覚を根拠とした否定的態度表明でもあった。

二〇一八年度学習指導要領の 問題点

また「学習の評価」なる領域は各学校単位が携わる領域であり、少なくとも国家的規模の全国一律の基準はなかった。五段階評価にし

「能力」の評価が影響を及ぼすということもある。そもそも人間の能力や資質などというものは計測することはできない。様々な場面、状況、環境などによっていかようにも変化するのである。「学力」なら確かに計測はできる。テストでの点数が計測基準となるであろう。しかしそれはあくまでも現時点での学力であり、諸個人の能力まじりや資質を判定するものではない。言うまでもなく、能力や資質は客観的に評価できるものではない。

第二にここで言われている「学習評価」は、文科省が国家権力が定めた「目標」の達成度合いによって児童・生徒を評価するというものである。これは一般的な学力の評価とは別の評価である。

第三にその評価の具体的な対象は指導要領で定めた各教科ごとの「資質・能力」の育成である。これが現在行われている「観点別評価」の根拠となる。児童・生徒諸個人の資質や能力を国家権力の基準で評価するというのである。

第四にこの評価内容は「生徒の学習の成果」として「生徒の『接続』を指す」と「学習の『接続』を指す」とを区別している点である。より具体的に言えば、この評価は進学先に「接続」されるということであり、小学校から大学まで生徒の「資質」や「能力」を評価するということである。

「観点別評価」とは国家権力によるあるべき人間像を、教育現場に無理やり導入する攻撃である。それは国家権力が児童・生徒の思想的中心、政治的中身を規定することを目的としているということである。

国家権力の思想統制を 許すな

次に、二〇一八年度新学習指導要領の具体的な記述を一瞥していく。新学習指導要領を分析するうえで最も特徴的な科目が社会科目である。

「公民科」では教科の目標を、「社会的見方・考え方を働かせ……グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力」が学習の態度として評価対象になる。

五面から

その個人の政治的な生き方を規定していくのである。あれどもそのような構造で規定される主体は、構造に隷属することによって、構造が要求する事柄に見合うよう形成され、定義され、再生産されていく。「ジェンダー・トラブル」青土社、二〇一八年（原著は一九九〇年）。

われわれ日本労働者階級人民は、己の否定的な歴史への批判とともに、歴史的現在における権力の支配、言い換えれば、自らの拠って立つ不当な存立基盤を徹底的に批判し、帝国主義イデオロギーもろとも日帝国家権力を打ち破らなければならぬ。

シェイクスピア『マクベス』第五幕。仕えていた王太子マクベスを夫マクベスと共に討ち、夫は新王に、自ら

は妃になった連れ合いが数日後、眠ったまま城内を徘徊しながら言う。

「マクベス夫人、また血の臭いがする。アラビシ味の香料をふりかけてもこの小さな手のいやな臭いは消えはしない。ああ、ああ、ああ！」（小田島雄志訳『シェイクスピア全集II』白水社、一九七四年）。

殺害時の返り血は洗っても洗っても落ちずに真っ赤だ。ダンカンが朝鮮人アジア人民に、マクベス夫人は日帝国家権力および日本人に置き換えられる。朝鮮人・中国人をはじめとするアジア人民を殺戮し、その生活を破壊し、または後方で支えた当事者である日本人の先行世代の手はもろろんだが、「頭から爪先まで毛穴という毛穴から血と汚物をしたたらせながら生まれて」（マルクス『資本論』第一巻第二四章いわゆる本源

「墨で書かれた虚言は、血で書かれた事実を隠すことはできない。／血債はかならず同一物で返済されねばならない。支払いがおそければおそいほど、利息は増さねばならない」（『花なきバラの二』『魯迅評論集』岩波文庫、一九八一年）。

南北在外の朝鮮人民をはじめとするアジア人民の自己解放なしに日本の労働者階級人民の自己解放はな

ちなみにこの「自国を愛し」という表現は社会科学総論と歴史や地理、公民や公共にわたるまで社会科目全般に用いられている。ほかに「多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚」などという表現も社会科目ほぼ全般に共通している。

また「竹島や北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題も取り上げるようにすること。その際、尖閣諸島については我が国の固有の領土であり、領土問題の存在しないことも扱うこと」

改悪教育基本法の実働化阻止 反戦・反改憲を闘おう

しかし、こうした現状に「教員を戦場に送るな」を断固支持し、改悪教育基本法の実働化阻止！戦争反対！改憲阻止！を闘おう。

共産同(統一委)機関誌

共産主義

COMMUNISM
第24号
第6回党大会報告
中央委員会報告
大会決議

2022年12月発行 A5版62頁 定価700円
〒120-0005 足立区綾瀬7-2-11
戦旗社

闘争日程

- 沖縄県民大会実行委員会 政府要請行動
市民集会
日時：2月6日(木) 18時30分～19時30分
場所：衆議院第一議員会館1階多目的ホール
- 石破訪米・トランプ会談反対！
2・7首相官邸前行動
日時：2月7日(金) 18時30分～19時30分
場所：首相官邸前
呼びかけ：戦争・治安・改憲NO！ 総行動実行委員会
- 国家の教育支配を許さない！
戦争と改憲に抗し平和実現に向け何をなすべきか
2025都教委包囲・首都圏ネット 2・9総決起集会
日時：2月9日(日) 13時30分開会
場所：文京区民センター3A
主催：都教委包囲・首都圏ネット